

第3回 道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備検討委員会

日時 令和7年9月30日（火）
午後6時から

場所 勝浦町地域活性化センター

次 第

1. 開会
2. 委員長・副委員長あいさつ
3. 議事
道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備の機能・ゾーニング・主要施設の
検討について
4. 閉会

道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備検討委員会

【第3回】プログラム

- 日程：令和7年9月30日（月）18:00～20:30（予定）
 ○会場：勝浦町地域活性化センター・レヴィタかつうら
 ○意見交換のテーマ：検討1 公園整備計画の素案について
 検討2 使われ生きる公園について



委員会 URL

■プログラム

時間 (目安)	項目	進行
17:40	※受付（3つのテーブルに誘導）	
18:00 (10分)	1. 開会 ・挨拶（委員長、副委員長） ・委員会運営のルール	勝浦町
18:10 (30分)	2 情報の共有 ①検討の記録 6分 ・第2回委員会の記録（スバル設計）3分 ・ニュースレターについて（スバル設計）3分 ②公園整備計画（素案）について（スバル設計・勝浦町）8分 ・公園整備方針（素案）、公園整備計画図（素案） ・主要機能配置（素案） ③情報「使われ生きる公園パークマネジメント、ものづくり計画の合意形成と成功の要因の視点から」8分	
18:40 (50分)	3 検討1（旗立てマップ方式、3テーブル）、素案の検討 1）素案の検討 40分 ・公園整備（素案）の確認の検討、意見カード（青：賛成、赤：懸念、黄色：意見） 2）検討結果の共有 10分	委員長 副委員長
19:30	休憩	
19:40 (40分)	4 検討2（KJ法ワーク方式、全体進行）、利用の検討ほか キーワード：公園を使う・使いたい情報＝「使われ生きる」 ・意見カード 組織等での公園を使う情報、その他 ・意見カードの記述（委員：黄、口頭意見：緑、キーワード：ピンク）	
20:20 (10分) 20:30	5 閉会 ・委員長等コメント（副委員長、委員長） ・次回の開催ほか ・閉会	勝浦町

委員会事務局

勝浦町役場総務防災課 電話 0885-42-2511 中田 敦士

〒771-4395 徳島県勝浦郡勝浦町大字久国字久保田 3

第3回 道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備検討委員会

○配布資料リスト (A4 サイズ)

名称	備考 (説明者)
00 委員会次第 (第3回)	
01 委員会プログラム (第3回)	コーディネータ
02 資料リスト (第3回)	コーディネータ
03 委員会名簿	
04 委員会の運営とルール	委員長
05 公園整備計画の概要 (目的・範囲・スケジュール・プロセス)	勝浦町
06 委員会の記録(第2回)	スバル設計
07 ニュースレター (第1号、第2号)	スバル設計
08-1 計画地周辺のハザードマップ (土砂災害)	
08-2 計画地周辺のハザードマップ (洪水浸水想定区域)	
09-1 公園整備方針 (素案)	スバル設計
09-2 公園整備図：ゾーン・機能・主要施設 (素案)	スバル設計
09-3 公園整備一覧表：ゾーン・機能・主要施設 (素案)	スバル設計
10 使われ生きる公園パークマネジメント、ものづくり計画の合意形成と成功の状態の視点から	委員長

○テーブル資料リスト (A1 サイズ)

名称	備考 (説明者)
T1 勝浦町ハザードマップ (全体)	A1 サイズ、3枚
T2 08-1, 08-2 勝浦町ハザードマップ (洪水、土砂)	A3 サイズ、3枚
T3 公園整備計画図 (素案)	A1 サイズ、3枚
T4 公園整備一覧表：ゾーン・機能・主要施設 (素案)	A3 サイズ、3枚

道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備検討委員会委員名簿

【委員】

所属等	氏名	備考
徳島大学大学院教授 徳島大学環境防災研究センター 副センター長	上月 康則	欠席
徳島大学人と地域共創センター 客員教授	澤田 俊明	Aテーブル
徳島県立博物館学芸員	辻野 泰之	A
NPO法人阿波勝浦井戸端塾塾長	国清 一治	Bテーブル
NPO法人K-F r i e n d s 理事長	秋成 ふみよ	B
(一社) 勝浦町地域活性化協会事務局長	新居 正志	C
生名ロマンの会会長	戸川 幹雄	A
道の駅「ひなの里かつうら」 駅長	渡邊 祐介	B
勝浦町区長会会長	倉坪 泰幸	C
勝浦町スポーツ推進委員会会長	内谷 安宏	A
勝浦町地域おこし協力隊	小布施 莉奈	B
勝浦町自主防災連絡協議会会長	阿部 恵	C
子育て世代代表	河野 千夏	A
子育て世代代表	高田 薫	B
勝浦町議会議員 (地元議員)	花房 勝一	C
勝浦町副町長	海川 好史	A

【コーディネーター】

徳島大学人と地域共創センター 協力員	高尾 美由姫	欠席
【勝浦町】 町長	野上 武典	
政策監	野上 佳孝	
総務防災課長	中瀬 弘晴	
総務防災課	中田 敦士	
【委託業者】 (株)スバル設計 代表取締役	藤川 健太郎	Cテーブル
(株)スバル設計	臼杵 正博	Bサポート
(株)スバル設計	緒方 里衣子	Cサポート

委員会の運営とルール 2025年7月9日、8月25日

●委員の皆様へのお願い（2つ）

1. 積極的に、自分の意見を述べよう
2. 積極的に、他の参加者の意見を聞こう

●委員会のルール（4つ）

3. 【意見】意見の存在は認める = 否定はしない
(背景) 多様な見方、多様な環境：意見の違い → 正常な状態
4. 【記録】委員会の開催状況をテキスト、及び、写真により記録します。
5. 【情報の公開】委員会の配布情報、記録情報は、委員長・副委員長の確認・承諾後、公開します。また、公開情報に限り委員の利用を可とします。
6. 【傍聴】委員会は、公開可とし傍聴者を認めます。このとき、傍聴者は発言できません。傍聴者は、上記4. 5. の記録情報の対象となります。

●委員会の運営

7. 限られた時間で、効率的な意見交換（対話）を実現するため、社会技術としてのワークショップ手法等を導入します。

（参考）合意形成とは

多様な価値の存在を認めながら、人々の立場の根底に潜む価値を掘り起こして、その情報を共有し、お互いに納得できる解決策を見いだしていくプロセスのこと

※合意形成マネジメント協会（代表：哲学者・桑子敏雄氏）

道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備の概要

1. 諮問：道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備検討委員会宛て

表 1 勝浦町から委員会への諮問（R7年7月9日）

<p>道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園基本整備計画について（諮問） 次の事項について貴委員会の意見を求めます。</p> <p>1. 諮問事項 道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園基本整備計画の策定について</p> <p>2. 諮問理由 平成23年の開設から14年が経過した道の駅「ひなの里かつうら」について現在の状況や将来的な見通し等を踏まえた上で、その周辺に新たに公園を整備するにあたり基本計画を策定する必要があることから、貴委員会に意見を求めるものであります。</p>

2. 道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備計画の目的・範囲・スケジュール

表 2 目的・範囲・検討内容等（第1回委員会資料より）

<p>(1) 策定の目的 近年の大規模地震や台風、異常気象に伴う大雨など自然災害の発生時において、町民の避難場所をはじめ、救援物資の受け入れや復旧活動等に資する防災の拠点、また、平常時はイベント時の駐車場不足の解消を図った上で子ども達が遊べる場を提供し、新たなにぎわいの創出や地域住民の利便性の向上を図る拠点となる公園の早急な整備が求められています。 このような多面的な機能をもつ公園を整備するための計画を策定する。</p> <p>(2) 範囲 道の駅・よってね市周辺の範囲（範囲図省略）</p> <p>(3) 整備計画のおもな検討内容 ① 検討条件の設定：検討課題の抽出・確認 ② 公園機能の検討：防災機能を含めた検討、ゾーニング等 ③ 概算事業費の検討：概算事業費の算定</p> <p>(4) 方針（現段階の骨子案） ① 防災機能を持つ地域拠点の整備 ② 幅広い世代、地域資源活用、子どもから大人まで世代を超えた利用機能の実現 ③ 交流拠点機能、情報発信機能の強化 ④ 駐車場機能の拡充</p> <p>(5) 今後の予定（今後の進捗状況によっては変更が生じます） 令和7年度 ○ 基本整備計画の策定 委員会予定：第1回（7/9）、第2回（8/25）、第3回（9月下旬）、第4回（11月上旬） 令和8年度から令和10年度 ○ 基本設計（諸施設の検討及び決定、概算事業費算出等） ○ 用地取得 ○ 実施設計 ○ 整備工事 令和10年度内の開園を目指す</p>

3. 論点

表 3 公園基本整備計画上の主な論点

- 論点1 目的・方針
 - ・公園計画の目的・範囲、機能イメージ
 - ・計画予定地の特徴、関係者のニーズ
 - ・方針（機能、利用・参加協働、維持管理）
- 論点2 計画
 - ・公園の機能（＝利用、活動）、ゾーニング、主要施設配置
 - ・高さ（防災機能面等からの公園の高さ）
- 論点3 利用・参加協働
- 論点4 維持管理

4. 委員会の流れ（R7年度）

7月9日

【第1回】

- ・公園計画の目的・範囲の確認
- ・公園計画の機能・主要施設・想定すべき利用者の検討

論点1

8月25日

【第2回】

- ・公園計画素案（3案）の検討
- ・ゾーニング・機能配置・主要施設の比較表の検討

論点2

3案→1案に絞り込み

9月下旬

【第3回】

- ・公園基本整備計画（素案）の検討・修正意見
- ・公園の利用・参加協働、維持管理の検討

論点1～2

論点3～4

11月上旬

【第4回】

- 公園基本整備計画（案）の提示・修正意見
- 公園の利用・参加協働（案）、維持管理（案）の提示・修正意見

論点1～2

論点3～4

道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園基本整備計画 第2回策定委員会（意見交換会）

(資料 06)

意見交換のテーマ：論点2（機能、ゾーニング、主要施設）の検討【3案を検討】

実施時間	令和7年8月25日 18:00～20:45
対象	徳島大学大学院教授、徳島大学客員教授、徳島県立博物館学芸員、NPO法人阿波勝浦井戸端塾塾長、NPO法人K-Friends 理事長 (一社)勝浦町地域活性化協会事務局長、生名ロマンの会会長、道の駅「ひなの里かつうら」駅長、勝浦町区長 勝浦町スポーツ推進委員会会長、子育て世代代表、勝浦町議会議員、勝浦町副町長
方法	旗立マップ方式
主な内容	<p>■情報の共有 (35分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①委員会の運営とルール(案)の追記 ②第1回委員会の記録 ③主要施設について ④公園ゾーニング図・3案 ⑤本計画における防災機能について ⑥勝浦町における「恐竜」資産の活用の取組 <p>■検討 (95分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 公園計画の3つの案の検討 ・手法 旗立てマップ方式、3テーブル
実施回数	<p>令和7年7月9日(水) 第1回 令和7年10月下旬予定 第4回</p> <p>令和7年8月25日(月) 第2回</p> <p>令和7年9月30日予定 第3回</p>

旗立てマップ 総意見集約表

ゾーン	機能	A案		B案		C案	
		主要施設					
芝生広場	○			× 芝生がほしい		○ 芝生がいい	
				× 芝生が良い		○ 芝生がいいあつた方がいい	
				× 芝生広場がよい		○ プランコとかを置いてほしい	
広場機能	○					○ 子ども達が遊べる場所が必要	
						○ 芝生広場○	
						○ 芝生部分でキャンプができればいい	
						○ 利用者の拡大を想定するならこのくらいの割合は必要!	
						△ 芝生広場は管理が大変	
土系広場	×			○ 広場ゾーン面質が良い			
				○ イベント時駐車場利用したい			
				× 土の公園は反対、雨の日などは汚い		×	
築山	○			× 広場ゾーン広すぎる			
				△ 管理土は必ず草が生えるので管理はどこがするのか?			
				△ 土系の公園は管理しにくい(雨天)			
				△ 土が流れる?			
						○	
シンボルツリー	○ (桜)			× 桜のシンボルツリーは欲しい		× 桜の花は入れて欲しい	
				○ 桜は絶対いる			
				× 桜×			
				× 桜は公園内にはいらない			
				△ 桜の木は端に移動できたら			
緑地機能	○			△ シンボルツリーあるのはいいいが真ん中は邪魔、移動したい			
植樹	○			○ 植樹の木はいろんな種類の桜がいい			
				× 植樹で見通しが悪くなる			
				△ 藤棚にしてはどうか			
				△ 植樹するなら桜だろうか管理は大丈夫だろうか?			
				△ 植樹は丈の低い木にすべき			
みかん畑・収穫体験機能	×			○ 賢成だけが誰が管理するのか			
				× 一般の個人でもできるイベントがあるのでいいらない			
				× 民間があるのでいいらない			
				× ここでもいいのいいのでは			
				× 広いものにすれば観光みかん園を圧迫してしまう			
水・リフレッシュ機能	○			× みかん体験期間以外ムダになる			
				△ 収穫体験期間以外ムダになる			
				△ みかん収穫体験場にしては狭い			
				△ 体験コーナーの面積は中途半端?			
				○ コースほしい			
園路	○			△ ランニングコースと広場の見かけがよくなる			
小川、せせらぎ (水路改修)	○			○ 川が邪魔になるなら迂回させては、せせらぎ水路			
				× 水路は暗渠で良い			
				× 水路があると狭くて使う便利が悪い			
				× 水路いらない、スペース分断もつたいない			
				× 広いスペースを分けるのはもったいない			
親水辺機能	○			× 広場が分断 水路は暗渠で			
				× 水路が広場の真ん中を横切ると邪魔になりそう			
				△ 水路を変えてほしい			

① 広場ゾーン

凡例： 賛成 反対 意見・懸念

旗立てマップ 総意見集約表

凡例： 賛成 反対 意見・懸念

ゾーン		主要施設		A案		B案		C案									
② 体験・交流ゾーン	機能	小さな池	○	○ 川と池は草刈効果高から欲しい！	○	△ 防災スペースとしては大丈夫か？	○	○	○								
				× せつかくの広いスペースが分断されるのはもったいない													
				× 危険である 清掃の問題													
				× 池と小川はいららない、子どもは危険													
				△ 安全上、衛生上問題ないか？													
				○						○ 恐竜、化石の活用	○	○	○	○	○	○	○
				△ レヴィタ館内を活用しては？						△	△	△	△	△	△	△	△
				○						○ レヴィタを使って恐竜学習及び体験施設として利用	○	○	○	○	○	○	○
				○						○ (記念撮影用) モニュメントはあって良いが、野外 (屋外) でも良い	○	○	○	○	○	○	○
				△						△ 化石発掘体験場はあって面白いが、使わない期間があるので別の場所としても使えるように	△	△	△	△	△	△	△
△	△ 発掘体験の講師は確保できる？	△	△	△	△	△	△	△									
雨避け・日除け機能	大屋根、コンクリートあり	○	○ 雨よけ必要、連続屋根	○	○	○ 屋根があり日陰になるため	○	○	○								
			○ 防災機能を兼ねることはできるか？			○				○	○	○	○	○	○		
			○ 公園内でのにぎわい(例：ピカガーデン)			○				○	○	○	○	○	○		
			○ 野外ステージ、大屋根○			○				○	○	○	○	○	○		
			○ 施設必要			○				○	○	○	○	○	○		
			○ 野外ステージ、マルシェ			○				○	○	○	○	○	○		
			○ 移動できるステージが欲しい (トレーラータイプ)			○				○	○	○	○	○	○		
			○ マルシェができる			○				○	○	○	○	○	○		
			○ (大屋根下で) 化石発掘体験			○				○	○	○	○	○	○		
			× 民家の横で振わくするのはどうか？			○				○	○	○	○	○	○		
△ 大屋根施設あったらよいと思うが民家があるのが...	○	○	○	○	○	○	○										
△ (位置的に) 民家への配慮	○	○	○	○	○	○	○										
△ (位置的に) 個人宅へは迷惑ではないか	○	○	○	○	○	○	○										
△ (位置的に) 個人の家への配慮をしっかりと	○	○	○	○	○	○	○										
○	○ 照明とコンセント必要	○	○	○	○	○	○	○									
備える機能	民間カフェ等 ※公園用地から除外	○	○	○	○	○	○	○	○								
			○			○				○	○	○	○	○	○		
			○			○				○	○	○	○	○	○		
			○			○				○	○	○	○	○	○		
			○			○				○	○	○	○	○	○		
			○			○				○	○	○	○	○	○		
			○			○				○	○	○	○	○	○		
			○			○				○	○	○	○	○	○		
			○			○				○	○	○	○	○	○		
			○			○				○	○	○	○	○	○		
交流 レクリエーション機能	マルシェ開催場所、コンクリート設置	○	○	○	○	○	○	○	○								
			○			○				○	○	○	○	○	○		
			○			○				○	○	○	○	○	○		
			○			○				○	○	○	○	○	○		
			○			○				○	○	○	○	○	○		
			○			○				○	○	○	○	○	○		
			○			○				○	○	○	○	○	○		
			○			○				○	○	○	○	○	○		
			○			○				○	○	○	○	○	○		
			○			○				○	○	○	○	○	○		

旗立てマップ 総意見集約表

凡例： 賛成 反対 意見・懸念

ゾーン	機能	主要施設	A案	B案	C案
そ の 他			全体として座れる所（ベンチ）など 	街灯は？ 体験・交流ゾーンの拡大は可能か 町外からの集客を目指すのか？	利用したいと思える施設だろうか？目玉が無くてただの広場で利用 拡大が難しい気がする 3施設の指定管理者は同じところで一体化する 指定管理を同じにしてほしい（レヴィイタ、道の駅、公園） 管理棟

<p>第 1 回 ニュースレター</p>	<p>道の駅「ひなの里かつら」周辺 公園基本整備計画・策定委員会話し合い</p>	<p>2025 年 7 月 9 日 (水) 19 : 00 ~ 20 : 30 会場 : レヴィタかつら</p>	 委員会 URL
---------------------------------	-----------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------

主催：勝浦町総務防災課 受託者：株式会社スバル設計 [参加者 22 名]

公園整備計画の目的

町のシンボル「ひなの里かつら」を中心に、町民も観光客も楽しめる“にぎわいの拠点”をつくることを目指しています。



- **地域資源の活用**
恐竜・みかん・ひな祭り・桜といった勝浦ならではの魅力を公園に反映。
- **日常利用と観光の両立**
町民が日常的に散歩や交流に使え、休日は観光を迎え入れる場に。
- **防災機能の強化**
災害時の避難場所・防災拠点としても利用できる安全な公園を整備。

公園計画における主な目的と方針について検討し、主要な機能や施設についての意見交換を行いました。

策定委員会の概要【4回開催】 ①7月9日 ②8月25日 ③9月30日 ④11月上旬

主な意見	テーマ	内容	参加者の声
	駐車場	大型車対応、RVパーク、自転車	「大型車が入れるように」 「キャンピングカーでも来られるようにしたい」 「自転車の空気入れがあると便利」
	地域資源の活用	恐竜、みかん、ひな祭りなどの地域資源PR 体験施設、桜の多品種植栽	「勝浦らしさをもっと全面に出したい」 「恐竜をテーマにした体験施設があると面白い」 「桜をシンボルに」
	防災・安全対策	洪水時の避難場所、防災倉庫、屋根付き施設、コンセント、水道設置	「災害時に使える設備が必要」 「手押しポンプなど電気がなくても使えるものがあると安心」 「水害対策を」
	利用者ニーズ	子ども向け遊具、高齢者の散歩道、若者向け体験、インクルーシブ設計	「子どもが安全に遊べる場所が欲しい」 「遊びながら学べる」 「高齢者も気軽に来られるようにしたい」
	飲食・交流	飲食スペース、マルシェ広場、多目的活動施設	「道の駅で買ったものをその場で食べられると便利」 「イベントができる広場があると地域が盛り上がる」



■カードの凡例：【ピンク】項目、【黄色】区分、【緑】参加者の意見 ■文字色凡例：【黒】参加者の記述、【茶】参加者の発言

今後の展望と課題

<p>✅ 想定される機能</p>	<p>⚠️ 懸念点</p>	<p>📊 図表案</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・散策、ウォーキングコース ・噴水、水辺空間 ・Wi-Fi 整備 ・飲食、体験施設（あずま屋など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水時の安全性 ・内容の詰め込みすぎによる中途半端さ ・維持管理の責任所在 ・暑さ対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゾーン別機能配置図 (公園ゾーン、広場ゾーンなど) ・利用者層マップ (平日・休日・観光客など)

この整備計画は「町民の日常の場」と「観光・交流の拠点」を兼ね備えた新しい公園づくりです。
今後も話し合いを重ねながら、町民の方々とともに形にしています。

お問い合わせ先：勝浦町総務防災課（勝浦町役場） 電話 0885-42-2511

第2回
ニュースレター

道の駅「ひなの里かつら」周辺
公園基本整備計画・策定委員会話し合い

2025年
8月25日(月)
18:00~20:45
会場：レヴィタかつら



委員会 URL

主催：勝浦町総務防災課 受託者：株式会社スバル設計

[参加者 24名]

公園整備の機能・ゾーニング図案について検討

今回の第2回委員会では、第1回委員会での意見を反映させたゾーニング図3案（ABC）をもとに、3グループが一定時間おきに3テーブルを回り意見を付箋に反映させる「旗立てマップ方式」で話し合いを行いました。

地域の未来を形づくる大切な議論が盛り沢山でした。



策定委員会の概要【4回開催】 ①7月9日 ②8月25日 ③9月30日 ④11月上旬

ゾーン・機能・主要施設の比較

道の駅「ひなの里かつら」周辺公園基本整備計画 (資料 07 - 2)				ゾーン・機能・主要施設の比較 (素案)			
ゾーン	機能	主要施設	防災機能	A案	B案	C案	
①広場ゾーン	広場機能	芝生広場	※	○	×	○	
		土系広場	※	×	○	×	
	緑地機能	シンボルツリー		○(桜)	×	×	
		植樹		○	○	○	
	地域学習機能	みかん畑・収穫体験機能		×	○	×	
	スポーツレクリエーション機能	ウォーキング・ランニングコース		×	○	×	
	親水水辺機能	小川、せせらぎ(水路改修)		○	×	×	
	小さな池		○	×	×		
	防災機能		※	○	○	×	
②体験・交流ゾーン	地域学習機能	PR 場所		○	×	×	
		セレクトメント展示場所		○	×	×	
		化石発掘体験場所		○	×	×	
	雨避け・日除け機能	大屋根、コンセントあり		※	大屋根 25m×32m 約 800㎡	あずま屋 5m×52m 約 260㎡	×
		コンセント		※	○	×	×
	儲ける機能	民間カフェ等※公園用地から除外		×	×	○	
	交流レクリエーション機能	BBQ 棟		×	×	×	
マルシェ開催場所、コンセント設置			×	15m×20m 約 300㎡	×		
	遊具			小型遊具	×	大型遊具	
管理機能	管理棟			×	5m×8m 約 40㎡	×	
	防災機能		※	○	○	×	
③駐車場ゾーン	駐車機能	駐車場(普通車)		約 60 台	約 45 台	約 80 台	
		駐車場(大型車)		約 5 台	約 3 台	約 10 台	
	駐輪機能	駐輪場		約 40 台	約 20 台	約 30 台	
	管理機能	トイレ		×	×	○	
共通	防災機能		※	○	○	×	

A 案：自然と学びの調和型	B 案：交流・体験特化型	C 案：機能分散・効率型
		
<ul style="list-style-type: none"> ・芝生やシンボルツリーなどの緑地機能の充実 ・小川や池などの水辺の活用 ・大屋根施設があり、地域学習機能としての恐竜学習を積極的に導入 ・駐車場・駐輪場が比較的広く、来訪者の利便性を重視 	<ul style="list-style-type: none"> ・半円型のあずま屋を採用し、BBQ 棟、マルシェ開催場所などの体験・交流ゾーンが中心 ・芝生や水辺は控えめだが、みかん収穫体験やスポーツレクリエーション機能の充実 ・駐車場はややコンパクトで日常利用を想定 	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生広場や植樹は維持しつつ、恐竜・化石などの地域学習機能は省略 ・大型遊具、バスケットコートなど、子どもが遊べる空間を重視 ・儲ける機能として、民間カフェ等の想定 ・駐車場は最大規模で、RV パークなども想定

ゾーン、機能に対する意見

<p>広場ゾーン(芝生・土系広場・緑地・水辺)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝生広場は「子どもが遊びやすい」「キャンプにも使える」など肯定的な意見が多いが、「管理が大変」といった懸念の声も。 ・土系広場は「雨天時は使いづらい」といった否定的な意見が目立つ。 ・桜を中心とした植樹に賛成多数。「季節感」「シンボル性」が評価される一方、「中央にあると邪魔」「見通しが悪くなる」との懸念も。 ・みかん収穫体験は「民間でもできる」「使わない期間がある」として否定的な意見が多い。
<p>体験・交流ゾーン(恐竜学習・大屋根・マルシェ・遊具)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恐竜学習・化石発掘は「勝浦らしさのPRになる」「レヴィタと連携したい」といった公的的な声と、「使わない期間がある」「講師確保が課題」といった実務的な懸念が混在。 ・大屋根には賛成意見多数。「マルシェや野外ステージをするならコンセント必要」といった具体的な提案も多いが、設置場所によっては「民家への配慮」が課題として挙げられている。 ・遊具については「たくさんほしい」「大型遊具を置いてほしい」とする声が多いが、「管理が難しい」「イベント時には邪魔になる」との意見も。
<p>駐車場ゾーン(駐車・駐輪・管理機能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車スペースについては「場所の配慮」「台数の適正化」「住民への影響」など、多角的な視点から議論された。 ・RVパークの導入には「収益性はあるが治安が心配」「設備が必要」といった慎重な声も。 ・周辺からの進入路やアクセスに関して「大型車の進入が難しい」「桜祭り時の混雑」などの課題が指摘されている。 ・トイレは「すでに2つある」「増設不要」とする意見と、「足りない」「場所の工夫が必要」とする意見が分かれる。 ・管理棟の必要性については「レヴィタと兼用でよい」「ボール貸出しなどの機能が必要」と意見が分かれた。
<p>共通(防災機能・その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画地は、土砂災害警戒区域・洪水浸水想定区域に位置するため、防災機能は「さりげなく取り入れるべき」「拠点としては難しい」と慎重な意見があった。 ・指定管理者の一体化(公園・道の駅・レヴィタ)を望む声あり。

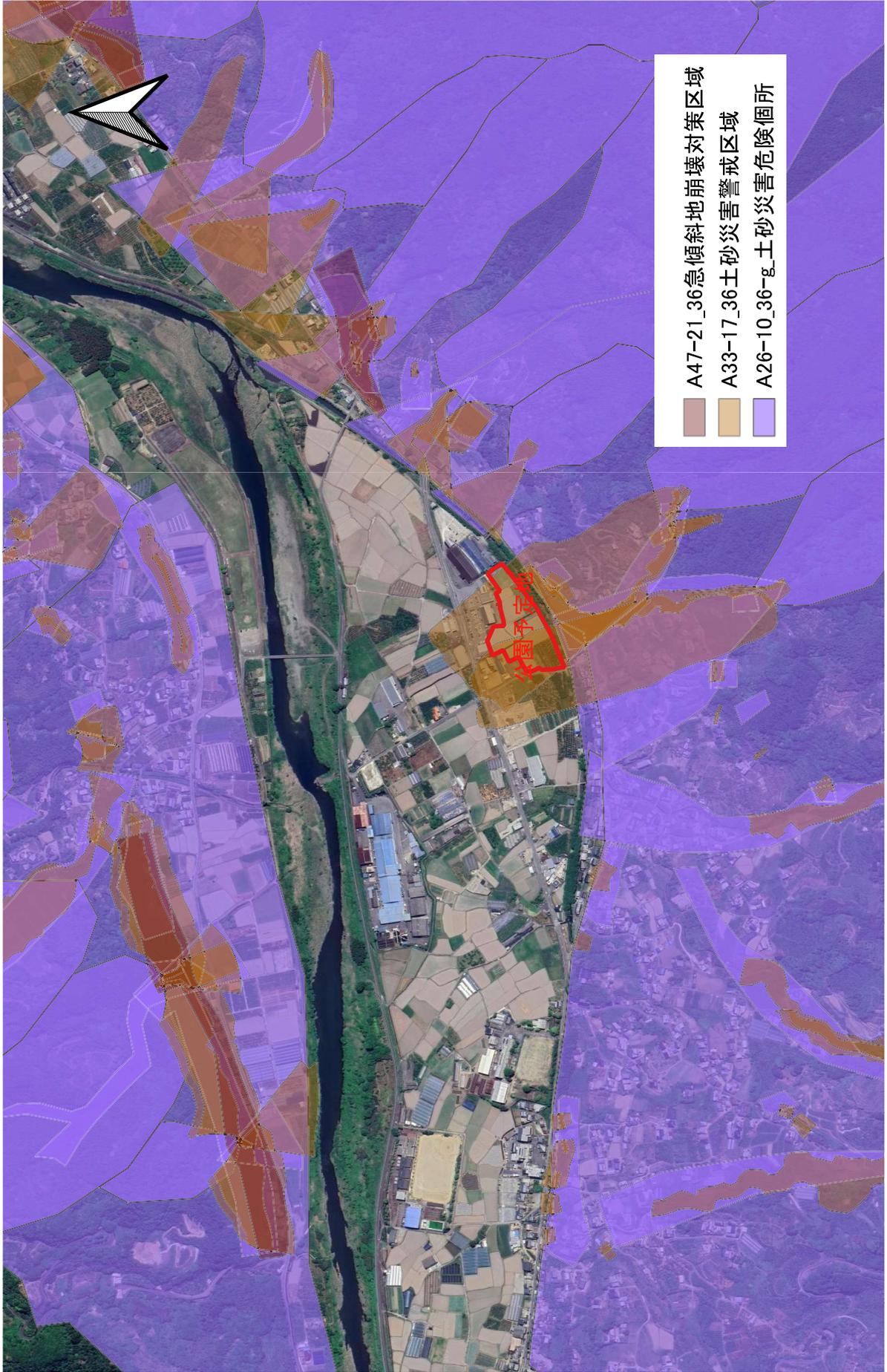
まとめ

今回の委員会では、住民の多様な視点が反映されました。
 委員会では、地域住民の声を反映しながら、より魅力的で使いやすい公園づくりを目指しています。
 次回の会議では、今回の意見をもとに具体的な設計案の検討が進められる予定です。

お問い合わせ先：勝浦町総務防災課（勝浦町役場） 電話 0885-42-2511

公園計画地 ハザードマップ(土砂災害)

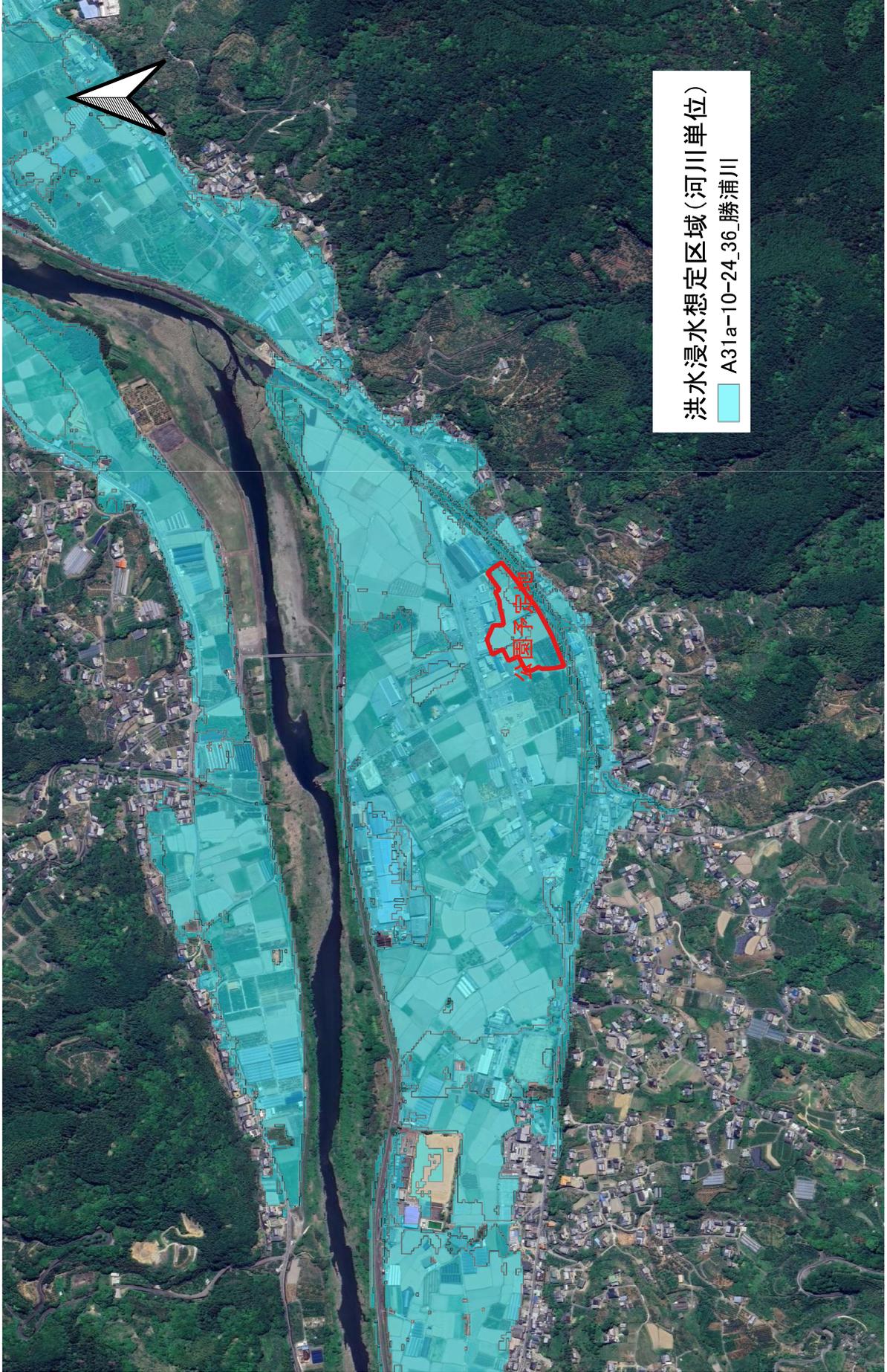
国土数値情報 徳島
急傾斜2023
土砂災害警戒区域2018
土砂災害危険箇所2018



(資料 08-1)

公園計画地 ハザードマップ(洪水浸水想定区域)

国土数値情報 徳島
洪水浸水想定区域2018



(資料 08-2)

道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備計画の目的と方針(素案)

1. 策定の目的

本計画では、道の駅「ひなの里かつうら」等と連携しながら、地域住民と来訪者が安心して集い交流し、自然や文化に親しめる場を創出することを目標とします。また、自然災害の発生に備えた防災学習の拠点とすることで、防災意識の醸成に資する公園を目指します。

2. 基本方針

- ①本公園は、計画地や道の駅「ひなの里かつうら」などの地域資源を生かし、地域連携のもと整備を進めます。
- ②本公園は、地域住民・活動組織・来訪者等が、現在および未来に向けて利活用する勝浦町の資産として、新たな価値創出や課題解決に向けたまちづくりの場として位置づけ、「使われ活きる公園」として整備します。
- ③本公園は、公園の利活用、ルール、維持管理、住民参加など、公園をしなやかに使いこなす仕組みを整え、これら担い手を広げ育てます。

3. 整備方針

- ① 幅広い世代、地域資源活用、子どもから大人まで世代を超えた利用機能の実現

子どもから高齢者、障がいのある方や観光客など、多様な世代や属性の人々が安全・安心に利用できる空間を提供するため、バリアフリー対策やユニバーサルデザインを導入し、移動・休憩・情報取得のしやすさを確保します。また、子どもたちの多様な遊び方に対応する遊具や、親世代が見守りながら交流できる滞在場所の提供を目指します。

- ② 交流拠点機能、情報発信機能の強化

道の駅や勝浦町の伝統文化（ひな祭り、みかん、鶴林寺など）と連携し、地域らしさを感じられる空間演出や、イベント展開を活かした魅力と賑わいの創出を目指します。また、住民参加型のイベントや活動の場を提供することで、地域コミュニティの活性化を図ります。

- ③ 駐車場機能の拡充

来訪者の利便性向上のため、適切な駐車スペースの確保と配置を行い、台数に余裕をもたせた駐車場の整備、バリアフリー対応の駐車区画など地域住民だけでなく広域からの利用にも対応できる環境を整えます。

- ④ 防災学習機能の整備

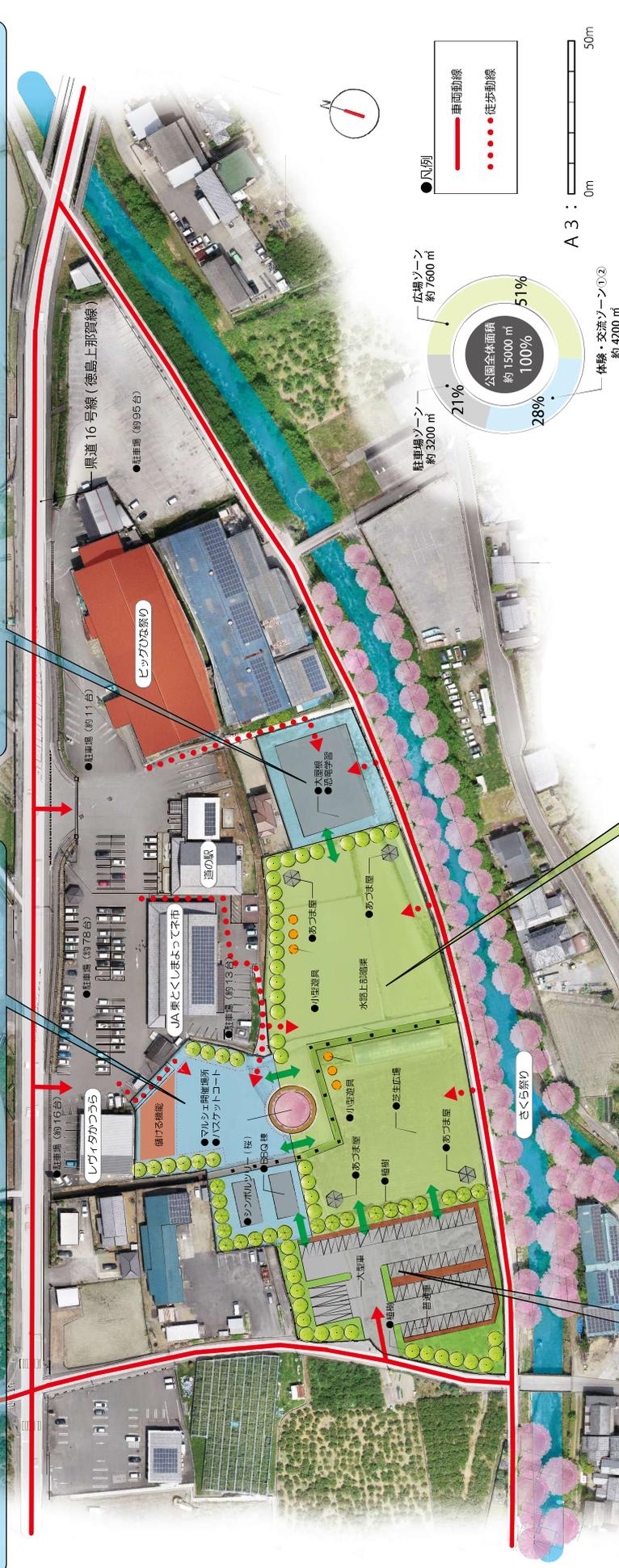
本公園は、洪水や土砂災害の想定区域に立地します。このため、防災訓練や発災時の避難行動などについて学び防災意識の向上を図る防災学習機能を持つ公園として整備します。平時から多世代交流の公園を目指し、共助促進等の防災意識の醸成を図ります。

②体験・交流ゾーン-1

- 備える機能
 - 民間カフェ等
 - 管理機能
 - × 管理棟（レヴィタに管理機能を配置）
- 交流レクリエーション機能
 - B&Q棟（あずま屋）
 - マルシェ開催場所、コンセント設置
 - バスケコート（3×3コート）×1面
- 防災機能
 - 防災学習ベンチ等

②体験・交流ゾーン-2

- 地域学習機能
 - 恐竜学習
 - PR 場所
 - モニメント展示場所
 - 化石発掘体験場所
- 雨避け・日除け機能
 - 屋根施設（大屋根）
 - コンセント
- 防災機能
 - 防災学習ベンチ等



③駐車場ゾーン

- 駐車機能
 - 駐車場（普通車）約60台
 - 駐車場（大型車）約5台
 - × R.V.パーク
- 駐輪機能
 - × 駐輪場
 - 管理機能
 - × トイレ

①広場ゾーン

- 広場機能
 - 芝生広場
 - × 土系広場
 - × 築山

■ 緑地機能

- シンボルツリー（桜）
- 植樹
- 地域学習機能
 - × みかん畑・収穫体験機能

■ スポーツレクリエーション機能

- × ウォーキング・ランニングコース
- × 園路
- 親水辺機能
 - × 小川、せせらぎ（水路改修）
 - × 小さな池

■ 交流レクリエーション機能

- 遊具（小型遊具）
- 雨避け・日除け機能
 - 屋根施設（あずま屋）
 - × コンセント
- 防災機能
 - 防災学習ベンチ等

ゾーン	機能	主要施設	旗立マップ意見整理		採用	備考	
			○(賛成) ×(反対)	△(意見等)			
①広場ゾーン	広場機能	芝生広場	10	0	1	○	
		土系広場	2	2	3	×	
	緑地機能	築山	0	2	0	×	
		シンボルツリー	3	2	2	○	
	地域学習機能	植樹	1	1	4	○	樹種はなにが良かったか？(桜)
		みかん畑・収穫体験機能	1	5	3	×	
	スポーツレクレーション機能	ウォーキング・ランニングコース	5	0	1	×	敷地周辺を利用する
		園路	2	8	1	×	
	親水水辺機能	小川、せせらぎ(水路改修)	1	3	1	×	
		小さな池	12	2	1	○	小型遊具
交流レクレーション機能	遊具	あずま屋	(18)	(1)	(4)	○	6m×6m 約36㎡×4棟
		コンセント	-	-	-	×	
	雨避け・日除け機能	防災学習ベンチ	-	-	-	○	
		PR 場所 モニュメント展示場所 化石発掘体験場所	11	0	3	○	レヴィタを利用できないか？
②体験・交流 ゾーン-1	地域学習機能	大屋根	18	1	4	○	25m×32m 約800㎡
		コンセント	-	-	-	○	
	雨避け・日除け機能	防災学習ベンチ	5	1	3	○	15m×7.5m 約112.5㎡×2棟
		BBQ 棟	6	0	1	○	
②体験・交流 ゾーン-2	交流レクレーション機能	マルシェ開催場所、コンセント設置	2	1	1	○	3×3コート(11m×15m)×1面
		バスケットコート	3	3	3	×	レヴィタの受付を利用
	管理機能	管理棟	5	0	1	○	
		民間カフェ等※公園用地から除外	旗立マップ要点整理票参照	約60台		○	
③駐車場ゾーン	駐車機能	駐車場(普通車)	旗立マップ要点整理票参照			○	約5台
		駐車場(大型車)	旗立マップ要点整理票参照			×	
	駐輪機能	RVパーク	旗立マップ要点整理票参照			×	設置するならレヴィタ駐車場付近がよい
		駐輪場	5	2	1	×	RVパークを設置するら必要
管理機能	トイレ	-	-	-	○		
	防災学習ベンチ						
共通	防災機能		1	2	1	○	さりげない防災機能

道の駅「ひなの里かつら」周辺公園整備
検討委員会【第3回】 日程:2025年9月30日18:00~
会場:勝浦町地域活性化センター・レヴィタかつら



使われ生きる公園 パークマネージメント

ものづくり計画の合意形成と成功
の状態の視点から

澤田 俊明

徳島大学客員教授
徳島県景観アドバイザー
兵庫県地域再生アドバイザー



WORKS

専門領域
合意形成、景観、地域計画
自然体験活動

1

ものづくり、ビジョン・プランづくりの手順

- **【1】探索＝対象の情報**は **<拡げる>**
 - 課題、資源、方策候補 →可能性を拡げる
 - 分析
- **【2】検討＝何を実現するか** **<絞り込む・捨てる>**
 - **計画コンセプト** **—合意形成—**
 - 主要機能、主要活動
 - 捨て去ったもの→将来活用
- **【3】構想立案** **<共有する>**
 - ビジョン・プランの提案・共有

※商品デザイン、商業デザインとは異なるプロセス

2

参加の場：成功の状態

- ・ より良いものができる（計画合理性）
 - 良質の結果＝美しい・強い・使いやすい・売れる
- ・ 参加者の意見が最大限反映される（意見反映性）
 - 多くの人の利益＝良いこと
- ・ みんなが納得する手順（手続き正当性）
 - 多くの人の満足＝利益だけでなく，手続き

3

ものづくり・プランづくりのイメージ

参加型社会資本整備

これまで 【完結型】

- ・ できあがったもの

【実体のデザイン】(ものづくり、プランづくり)



これから +【継続型】

- ・ できあがったもの
- ・ プロセス(過程)

【実体のデザイン】(ものづくり、プランづくり)



★コーディネート・プロモートの必要性

- ・ 【利用・活動のデザイン】
- ・ 【人・組織づくりのデザイン】
- ・ 【維持管理・リスク管理】
- ・ 【参加・場のデザイン】

公園のマネージメント
(パーク・マネジメント)

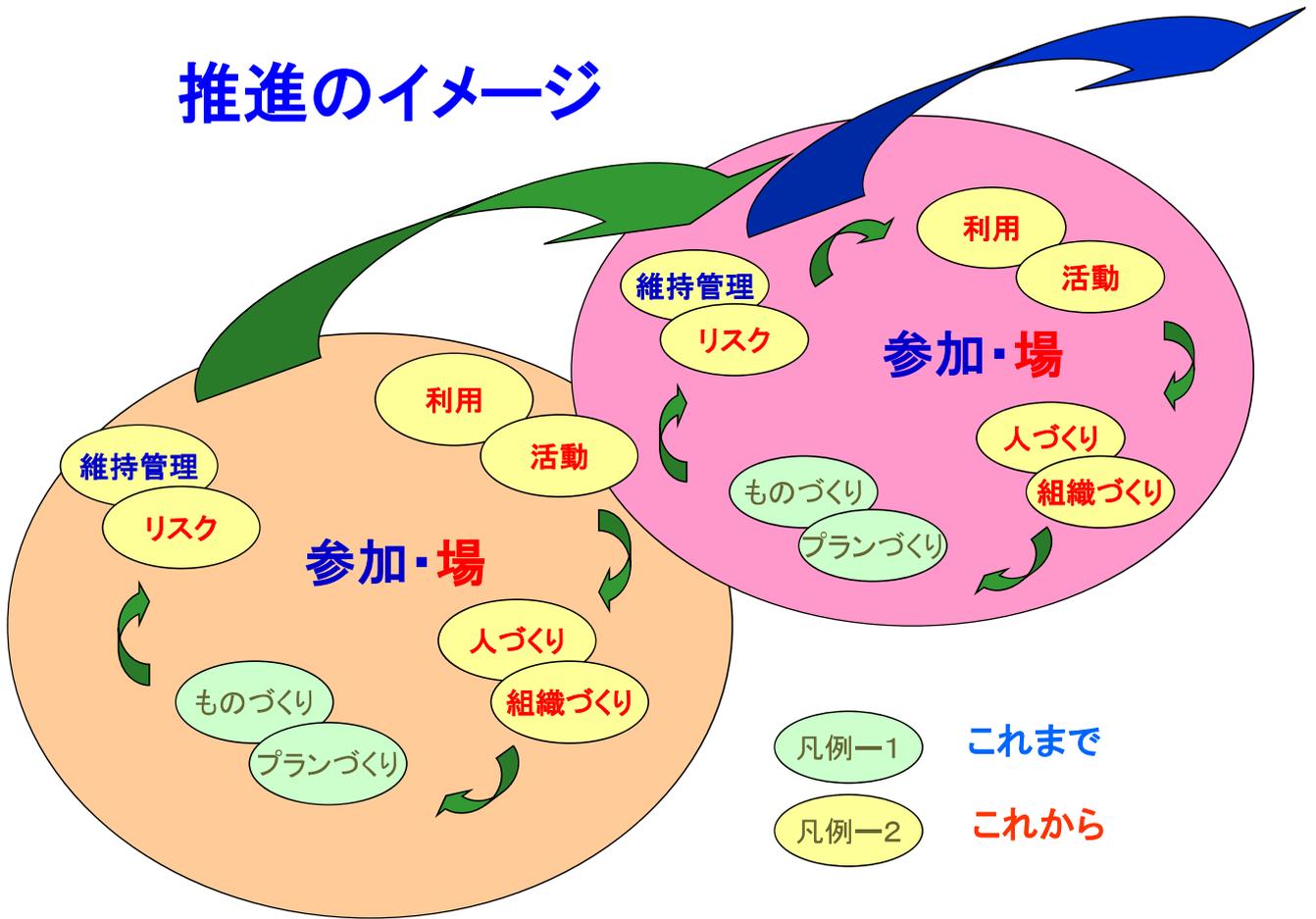
使われ生きる公園

(参考)

- ・ 澤田他：過疎地域の戦略的住宅マスタープラン施策の報告、2003土木計画学研究（秋大会）、2003年11月、
- ・ 澤田他：小松島港みなとまちづくり事例分析に見るみなと再生方策の考察、2005年土木計画学研究（秋大会）、2004年11月

4

推進のイメージ



(2003澤田俊明)

5

「使われ活きる公園」を目指して

都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言(2022年10月31日)、国交省所管

3つの変革

まちの資産とする

公園のストックを**地域の資産と捉え**、能動的・機動的取組で地域の価値やシビックプライドを高揚する



個性を活かす

公園の**特性に応じたルール**をオーダーメイドで作り、公園の楽しみ方を広げ、新たな文化を創造する



共に育て共に創る

パートナーシップの公園マネジメントを**実践**し、共有資産である公園を核にまちづくりへの関心を高める



6

「使われ活きる公園」を目指して

都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言(2022年10月31日)、国交省所管

3つの重点戦略

人中心のまちづくりの時代

重点戦略1

新たな価値創出や社会課題解決に向けた**まちづくりの場**とする

重点戦略2

しなやかに使いこなす**仕組み**をととのえる

重点戦略3

管理運営の**担い手**を広げ・つなぎ・育てる

都市公園新時代: 明治6年(1873年)、150年目の変革
公園が活きる、人がつながる、まちが変わる

7

パークマネジメント

ニューヨーク市の例

ニューヨーク市のブライアント・パークの公園担当者は「われわれは公園の管理や整備に公的資金を導入しているのではなく、地域の教育や福祉、健康のために資金を導入している。」

<https://www.sompo-ri.co.jp/2020/03/23/1382/>

公園を手段として

公園の活性化を手段とした地域課題の解決や地域づくりへのプロセスがパークマネジメントの本質

(事例)川崎市

●パークマネジメント・推進方針(2021年3月)

・視点1: 柔軟な利活用の促進と利用の多様化

・視点2: 利用者の視点・経営的な視点に立った維持管理・運営

・視点3: 柔軟な利活用と効率的な管理運営を見据えた公園づくり

<https://www.city.kawasaki.jp/530/cmsfiles/contents/0000126/126837/houshin.pdf>



8